

# 令和6年度 第3回都市緑化専門部会 会議概要

## ■日時

令和6年12月23日(月) 14時00分～16時10分

## ■場所

千歳市役所本庁舎 2階庁議室

## ■出席者

委員出席者：外崎委員(部会長)、竹田委員、津田委員、井溪委員、古幡委員、佐々木委員、渡辺委員  
(計7名)

委員欠席者：山根委員

事務局：都市整備課長ほか3名

市：都市整備課公園管理係長、公園整備係長

傍聴者：1名(公園緑地専門部会 松本委員)

## ■会議結果

### 1 開会

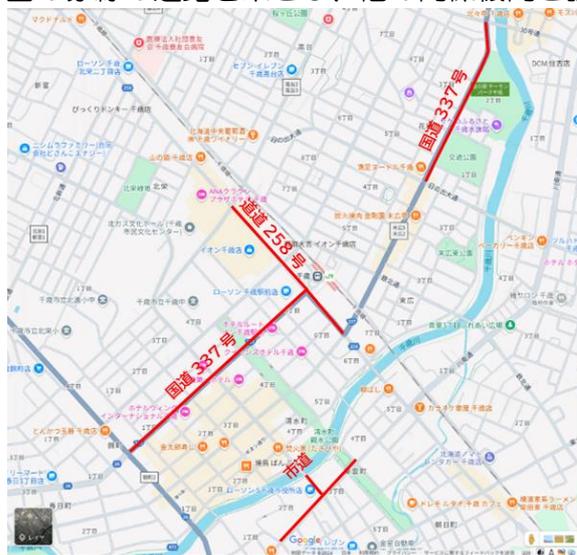
### 2 都市整備課長挨拶

### 3 議事

- (1) 緑の基本計画「基本理念・基本方針」について
- (2) 緑の基本計画「緑の将来像」について
- (3) 緑の基本計画「施策」について
- (4) 今後のスケジュールについて

### 【決定事項】

- ・上記(1)～(4)について、会議資料に基づき事務局から説明を行い、内容について検討を行った結果、概ね事務局案のとおり進めていくことが決定された。
- ・資料中の文言については、今後も必要に応じ修正していくこととなった。
- ・緑の拠点について、街路樹や植樹木の維持管理や緑化を重点的に行う範囲について、下図の赤線の道路を案とし、他の関係機関と調整を図ることとなった。



駅周辺(案)



空港周辺(案)

・基本理念について、両専門部会における選定の結果、案①「未来へつなく 美しい緑と清らかな水」に決定した。なお、「美しい緑」については、「豊かな緑」への変更を検討するとともに、今後もよりよい言葉がある場合は、変更を可能とすることとなった。

＜基本理念の選定結果＞

	都市緑化	公園緑地	合計
案①未来へつなく 美しい緑と清らかな水	3名	3名	6名
案②人と緑がつながる 魅力あふれるまち ちとせ	2名	0名	2名
案③みんなでつくる みんなでつかう 豊かな水と緑でつながるまちづくり	3名	2名	5名
案④豊かな緑・きれいな水とともに安心して住み続けられるまち	0名	1名	1名
案⑤千歳の緑が織りなす未来 自然と共に歩むまち	0名	1名	1名

※当日欠席者の回答を含む。

#### 4 閉会

##### ■会議における意見及び質疑応答等

1 議事(1) 緑の基本計画「基本理念・基本方針」について～(3) 緑の基本計画「施策」について（関連した内容となるため、事務局からまとめて説明）

【委員 A】

施策の内容としてはよいと思うが、どこまでやって行けるのかが課題となる。緑化の達成率についてはどうするのか。

【事務局】

現行の計画と同様に一人当たりの都市公園等の面積などについて算定し、目標を定める必要があるが、人口の増減に影響されるため、具体的な数値を決めるかどうかは検討中である。

【委員 A】

数値的な目標がないと評価できないと考える。施策において、新規と書いてあるものは成果に期待したい。新しい公園や緑地を整備すれば市民受けがよいのではないか。公園に店舗などを置くことは可能なのか。

【事務局】

店舗の設置については色々な手法があるが、手続を行えば可能である。

【委員 A】

既存の公園は指定管理者が管理運営しているが、その中で店舗を置くことは可能なのか。

【事務局】

指定管理者制度とは別の扱いと考えている。P-PFIは店舗で得られた収益を使って市が指定した範囲（特定公園施設）を維持管理してもらう。

【委員 A】

夏場は水遊びができる公園が人気なので、アイスやかき氷などを売れば流行ると思う。

#### 【委員 B】

前回の専門部会において、財団が行っている事業についての質問があったことから、本日、財団で発行している花水木をお配りしている。裏面に事業の一覧を掲載しているため、参考にさせていただきたい。

緑の拠点については、防災、保全、ネットワークなど、どのような役割とするかによって選び方が変わってくると思う。例えば、グリーンベルトは川に対して垂直なので、防災についての役割が大きいものとする。そのような考え方を示した上での拠点の考え方になると思う。

生物多様性については、千歳湖はムカシトンボなどの絶滅危惧種の繁殖地としても有名なので、そのあたりもふれてはどうかと思う。

エコロジカルネットワークについては、支笏湖から市街地までの緑を単純に繋ぐと熊も入ってきてしまうため、工夫が必要かと思う。長沼用水路の護岸が直角に整備され、子熊が落ちて水死してしまったという話を今年聞いた。

P-PFIについては、東京などの公園の一部にスターバックスなどの企業を取り入れることで、居心地のよい空間ができ、利用者から評判がよいという話を、数年前の公園管理運営士の全国大会において伺った。

デジタル化については、QRコードがあれば市や環組とも共有できるので、情報提供してもらえるとよいと思った。

#### 【委員 C】

施策について、内容は素晴らしいがやるが増えているように感じており、人口が減っていく中で計画が実行できるのか、将来重荷にならないか懸念している。

#### 【委員 D】

「⑩イベントなどを活用した緑に親しめる機会や場の創出」について、公園にキッチンカーを出店しやすくするなど、商売のハードルを下げると市民に喜んでもらえる場を提供できるのではないかと思う。

#### 【委員 E】

各町内に公園があるが、今は公園を利用している子どもが減った。形だけの遊具が設置されており、破損してもそのままの状態になっている。同じような公園だと子どもたちもワクワクしないので、一度公園利用者の声を聴いて、サッカー・野球・スケートボードができるなど、特徴のある公園にして、子どもたちが喜ぶような場所を提供してあげたい。本当に遊具が必要なのか一度見直しが必要と考える。

樹木医など資格を持つ人も必要だが、市内で長年、緑や花に携わっている人をまちの財産として市が認定するなどしてはどうか。市外からアドバイザーを呼ぶのではなく、市内で人材を発掘して育てて欲しい。

#### 【委員 F】

生物多様性に関しては、札幌市で子ども向けのミニ図鑑を作成しており、イベントを通じ、市の指標種についての生存数や生存地域を集計してまとめている。千歳市も環境白書に希少種が記載されているので、イベントを絡めながら子どもたちに探してもらうなどの活動を続けていくことによって、生物の保護や認識の向上に繋がるので、将来にわたって大事な活動だと思う。

エコロジカルネットワークについては、熊が心配。熊の出没地と市街地をエコロジカルネットワークで繋げてはいけないので、対策をとりつつ緑の繋がりを考えて欲しい。鹿やキツネも同様。「⑫公園のあり方」について、公園の規制が多いというのは感じている。金銭のやり取りなど（商売）ができないと利用しづらいので、千歳市には利用方法について柔軟性を持ってほしい。柔軟性があることで公園をもっと活用できるので、市民と公園管理者がしっかり協議できたらよいと思う。

【部会長】

施策がどこまで達成できるのかが重要だと思う。施策に市とボランティア、企業との連携強化が書かれているが、企業でもCSRやSDGsなどの目標達成に取り組んでいるので、連携して活動に参加してもらえればと思う。今の人員で達成しようとする大変なので、企業やボランティアと協力して活動に参加していただける方を増やし、目標を達成できればよいのではないかと考える。

【委員F】

かわまちづくりとの関わりはあるのか。

【事務局】

別の部署でかわまちづくり計画を作成しており、千歳川を活用したまちなかの活性化を目指している。千歳川なので、かわまちづくり計画は国と連携して作成しており、国はハード整備、市は憩いの場の提供などについて色々と展開できないか考えているところである。緑の基本計画では、かわまちづくりと連携し、河川敷をうまく使っていきたいと考えている。

委員の皆さまがおっしゃるように、施策についてどこまでできるのかが重要だと思う。新規の施策は、何をどこまでやるか固まっていないが、必要な取組について記載している。市の職員も人数が限られているため、重荷にならないようにしたい。企業との連携も未知な部分はあるが、取り組んでいけるものがないか、探していきたい。

ご意見の中にあっただが、公園の利活用については、キッチンカーや売店があった方がよいものか。

【委員A】

キッチンカーや売店はあった方がよい。自動販売機だけでなく、アイスや軽食などがあると利用者の滞在時間も長くなり、市民サービスにも繋がる。

【委員E】

家族で出かけるなら特に飲み食いは必須。利用者が望んでいることを掘り起こしてほしい。

【委員F】

公園に売店などをつくるというよりは、店舗のあるところの近くを心地よくしてほしい。ルタオの近くのママチ川など、近くの飲食と緑地とのアクセスを良くするとよいと思う。

【委員A】

千歳市は散策できる緑地がない。青葉公園くらいかと思う。

【委員E】

住んでいる人も小さなスポットを認識してない。見えないところの名所もマップなどで紹介してほしいと思う。

【委員F】

市民病院横のエゾヤマ桜がきれいなところと近くの飲食をリンクさせるなども良いと思う。

【委員E】

私たちにとって当たり前のことを当たり前と思わない視点も必要。

【事務局】

統廃合もハードルは高いが、今後考えていかなければいけない課題だと考えている。

【委員 C】

幸福は公園がたくさんあり、自宅から歩いて 10 分以内に 2 つくらいあるが、1 つの公園で遊んでいる子どもは 3～4 人程度である。街区公園の設置基準はあるのか。

【事務局】

街区公園については、半径 250m に一つ設置するなどの考え方があり、開発に応じて公園ができています。

【委員 C】

これから土地を買う人にとっては、近くに公園があるというのも土地を選ぶ際の選択肢の一つとなる。

【委員 A】

町内に一つの公園というのが目安。今後公園を作る予定があれば、テーマを決めて作ってもらうのが良い。水の管理などは大変だが、市民ニーズに合った公園をつくれたらよいと思う。

【事務局】

エコロジカルネットワークを繋ぐことで野生動物が進入してしまうことも危惧されるが、街路樹を繋ぐくらいであれば、熊や鹿は入ってこないと考えている。

【委員 A】

鹿は松以外何でも食べるので、共存するしかない。

【委員 F】

植える木の種類によるのではないかと。鹿が好む植物を植えると寄ってくる。

【事務局】

施策については、ここまで概ね了解を得られたので、精査し、最終的な案について緑化審議会に諮ることとする。

## 2 「①緑の拠点について」の意見聴取

【事務局】

緑の将来像及び施策における「緑の拠点」について、どこの場所を選定していけばよいか、ご意見を伺いたい。例えば、残したい場所、守りたい場所、彩りたい道や場所、景観づくりなどについてお聞かせいただき、参考とさせていただきたい。

【委員 A】

青葉公園、グリーンベルト、桜プロジェクトの河川敷、市役所の周り（仲の橋～川南通）、千歳駅の前、道の駅の周りなどの人が集まる場所、市外からの来訪者が見る場所。

【委員 B】

ママチ川沿いのポケットパークについて、本町 5 丁目周辺は木道でつながっていたと思うが、緑の拠点になり得ないか。とても環境の良い木道になっていた。

【事務局】

木道、木橋は老朽化して危険なため、撤去した。すぐには付け直すことができない状況である。

【委員 B】

市外の人が一番目にするのは空港なので、空港周辺に緑の拠点を作るのは可能か。

【委員 C】

レウの近くで飛行機から見えるような花文字を J C が単独で行っていたことがある。

【委員 E】

花を植える場所があって、ひとり一鉢でも二鉢でも寄付してもらえる仕組みができればよいと思う。

【委員 C】

千歳は全体的に素晴らしいが、みんなにシンボルを聞いた時にすぐ答えられないと思う。基本理念案③にある「みんなでつくる、水と緑でつながるまちづくり」は素晴らしい。親水公園を拠点に、北海道で一番の桜並木を作るなど、シンプルなやり方がよいと思う。桜は外国人にも人気があるので、桜に人が集まり、併せてキッチンカーなど人が集まる環境があると、そのあとも市街地に滞在する人も増える。あちこち手を付けるのではなく、どこか拠点を決めて取り組むのがよいと思う。

【委員 D】

名水ふれあい公園は子どもを連れてよく遊びに行ったが、食べ物や飲み物が売っていないので、もう少し充実させれば市外からも人が集まるのではないかなと思う。

【委員 E】

公園の滞在時間を長くするためには、食べ物・飲み物が必須。B 級でも C 級でも、千歳の美味しい名物があれば、キッチンカーでもよいと思う。キッチンカーが多いまちを前面にしてもよい。公園に食べ物の充実をお願いしたい。

【委員 F】

拠点は散らすべきと考えている。青葉公園、グリーンベルト、駅周辺、ママチ川から駅周辺。空港周辺にも千歳に降りたことを印象付けられるものがあればよいと思う。サーモンパークはもっと充実した公園にできればよいと思う。施設が少し小さいと感じており、屋内公園も備えたような年中利用可能な充実した施設があればよいと考える。

【部会長】

キッチンカーの話が出ていたが、SNS で有名な店が来たりすると、それを見て人が集まるので、公園にキッチンカーを置くのはよいと思う。キッチンカーの出店者と話す機会があり、出店場所が近場でないことやマージンの問題など、キッチンカー運営側も出店場所があると助かるのではないかな。

【事務局】

緑の拠点について意見を出していただいたが、駅前について、緑の拠点として綺麗にしていきたい区域案を決めたいと思う。例えば、千歳駅からグリーンベルトまで、もしくは国道 36 号までなど。千歳駅前から国道 36 号までは、地崎道路(株)がウエルカム花ロードで植樹柵の花植を行っている。

【委員 A】

国道 36 号まで。最低でもグリーンベルト。

【委員 E】

地崎道路と駅前の花壇を連携出来たらよいと思う。テーマを決めて連続して花植ができると圧巻だと思う。

【事務局】

相手方に相談は可能と考える。

【委員 E・委員 F】

国道 36 号まで。

【事務局】

北西側、南東側は。北西側は GARAKU（スープカレー屋）まで、南東は郵便局の交差点までか。

【委員一同】

了解。

【事務局】

道の駅周辺はどうか。駐車場の前くらいでどうか。

【委員一同】

了解。

【委員 E】

花植えと管理はセットでないと、美しい景観は保てない。

【事務局】

宿根草を使うなど、考えていく必要がある。市役所の周りはどうか。

【委員 A】

普通の市町村は、役所の周りはきれいにしている。  
役所の周りど、できれば水道局からグリーンベルトまで。

【事務局】

今まで町内会に花植えなどを行っていただいたが、維持できなくなった。

【委員 E】

対応できないところは減らしてもよいと思うが、市の顔となる場所は最低限綺麗にしてほしい。

【委員 A】

高木を伐採してプランターや花を植えるなどでもよいと思う。

【事務局】

商工会議所の前から市役所駐車場までと水道局からグリーンベルトまででよいか。

【委員一同】

了解。

【事務局】  
空港周辺はどうか。

【委員 F】  
新千歳空港インターを降りて、空港に向かう T 字路に、以前花があった。

【事務局】  
空港周辺は調整していきたいと思う。

【委員一同】  
了解。

【事務局】  
いただいた意見を基に検討し、緑化審議会に諮りたいと思う。併せて関係機関と協議していくこととする。

### 3 「②緑に関する情報発信について」の意見聴取

【事務局】  
「緑に関する情報発信」について、緑に関する情報を、どんな場所から何を使って行ったらよいか、また、どんな情報が求められているか、ご意見をいただきたい。

【委員 F】  
公園で何か手伝えることがあればやるという親御さんの団体もあるので、人が足りないのではなく、そのような団体への情報発信が必要と考える。

【委員 E】  
もっとたくさん情報発信してほしい。市の仕事は市民を満足させるためなので、市民へは小さなことでもどんどん情報発信してほしい。

【委員 D】  
千歳市の LINE の投稿が多いので、活用したらよいと思う。

【委員 C】  
発信場所は親水公園。市が発信した情報は特定の人しか見ないので、イベントなど誰かが SNS で発信することで多くの人目にふれるようになる。そのような状況を作るのが一番よいと思う。

公園内にカフェを常設するのはハードルが高いと思う。カフェが 10 年後に流行っているかわからないので、常設よりは変化に対応できる形にした方がよいのではないかと。

【委員 B】  
緑化に関するものは一つのハッシュタグを統一して付けると、千歳の緑化に関するデータをまとめて拾うことができる。ここの公園は電源がある、水道があるなどの情報も出していけるとよいと思う。公園の利用に関する情報を月 1 回発信するなどよい。ターゲットによって媒体を変えたり、タグを追加したりすると、広めていきやすくなると思う。

【委員 A】

市役所のホームページを基本として、指定管理者である環組のホームページを内容の濃いものにしていく。ネットは間違った情報を流す人もいるので、市役所のホームページに環組、財団、花俱樂部へのリンクページを貼り付けて情報発信するのが正確でよいと思う。年配の人は紙でほしい人もいる。

【部会長】

年代に合わせた形でSNS、紙などで発信するのがよい。観光マップに公園や見どころなどを記載するのもよいと思う。

【事務局】

情報発信について、いただいた意見を参考に検討していくこととする。

#### 4 議事(4) 今後のスケジュールについて

【事務局】

赤字部分を変更している。

質疑応答なし。

#### 5 基本理念の選定について

【事務局】

基本理念についてお一人様一つ選んでいただき、公園緑地専門部会と合わせ、多く選ばれた案を基本理念として選定したい。

また、本日欠席された委員については、後日事務局から回答を伺うこととする。

なお、午前中行った公園緑地専門部会において、案①の「美しい緑」は「豊かな緑」の方がよいという意見や、案④と案⑤が「まち」で終わっており、案②は「まち ちとせ」で終わっているため、統一性がないのが気になるという意見もあったことから、検討したいと考えている。

#### <選定結果>

案①未来へつなぐ 美しい緑と清らかな水：2名

案②人と緑がつながる 魅力あふれるまち ちとせ：2名

案③みんなでつくる みんなでつかう 豊かな水と緑でつながるまちづくり：3名

案④豊かな緑・きれいな水とともに安心して住み続けられるまち：0名

案⑤千歳の緑が織りなす未来 自然と共に歩むまち：0名

#### 6 閉会

今年度の専門部会は今回が最後となる。緑化審議会は来年の2月28日を予定している。

以上